

授業科目の区分等：専門教育科目 会計学科 展開科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	選択
担当教員			
小島 一富士・吉田 和広・大泉 寛			
A (会計学科)	S (専門科目)	AC (会計)	201 (中級科目)

授業のねらい (概要)	大規模な企業の商取引の実態を簿記会計の側面からの的確に捉え、適切に会計情報を伝達・開示する企業会計の果たす役割の重要性を理解し、簿記を通じた実際の企業活動を理解した会計実務者を養成することを目的とする。具体的には、大規模な企業の経営活動に関する取引を理解し、仕訳、転記、決算、損益計算書・貸借対照表・株主資本等変動計算書・キャッシュ・フロー計算書及び基礎的な連結財務諸表の作成に関する考え方について学習する。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】一般簿記 第1章 現金預金 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第2回 【遠隔】一般簿記 第2章 棚卸資産 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第3回 【遠隔】一般簿記 第3章 金銭債権の評価 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第4回 【遠隔】一般簿記 第4章 有価証券 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第5回 一般簿記 第5章 固定資産 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第6回 一般簿記 第6章 引当金 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第7回 一般簿記 第7章 社債と新株予約権 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第8回 一般簿記 第8章 純資産 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第9回 一般簿記 第9章 損益と税金 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第10回 一般簿記 第10章 収益の認識 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第11回 一般簿記 第11章 デリバティブ取引 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第12回 連結会計 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : 簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p>

	<p>第13回 【課題】構造簿記 第1章 企業結合 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。</p> <p>予習（時間）：簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく（120） 復習（時間）：予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする（120）</p> <p>第14回 【課題】構造簿記 第2章 事業分離 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。</p> <p>予習（時間）：簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく（120） 復習（時間）：予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする（120）</p> <p>第15回 【課題】構造簿記 第3章 第4章 キャッシュ・フロー計算書 テキストを読み、理解し、説明できるようにする。</p> <p>予習（時間）：簿記1級のタイトル内容につきweb視聴をし、計算例を解き理解しておく（120） 復習（時間）：予習の項目について計算例の復習をし、完答できるようにする（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DP（商学部）の2項目を意識した科目となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢</li> <li>2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力</li> </ol> <p>DP（会計学科）の1項目を意識した科目となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として全うできる能力</li> </ol> <p>【身に付くスキル】 課題解決力・論理的思考力</p>
到達目標	①わが国の会計基準に基づいて、授業計画に記載した基本的論点を正しく理解し、具体的会計処理が適切に行えるようになる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の全体的な注意点などを授業内で解説する。
履修上の注意	<p>次の事項について十分に注意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 講義の他、朝7時から予習復習を行う</li> <li>(2) web視聴を前提とした反転講義を行う</li> <li>(3) 欠席の場合には事前に教員に連絡する</li> <li>(4) 欠席（公欠含む）6回で履修放棄とみなす</li> <li>(5) 日商簿記検定1級レベルと同等の知識を要する</li> </ol>
成績評価の方法・基準	<p>学期末に行う「筆記試験」（50%） 授業内外の「課題」（50%）</p>
教科書	経理研究所において利用している「日商簿記1級」のテキストを利用する。
参考書・教材	
備考	<p>講義科目／実務家教員による授業</p> <p>2020年度は、13～15回は課題研究として学修する。 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、及び作業指示を高崎商科大学経理研究所のwebシステムなどで行う。各回全体で330分の学修を想定している。</p> <p>「成績評価の方法・基準」欄の「筆記試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえて「最終レポート」で代替することがある。その場合には速やかに高崎商科大学経理研究所のwebシステムなどで実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知する。</p>
教員との連絡方法	高崎商科大学経理研究所のwebシステムを通じたメール（アドレスは授業内で周知）